

Profet AI | 設備メーカー実例 | 設備部品所要数量予測

Challenges (ペインポイント)

- 設備の部品の一部は、単価が高く、体積も大きいので、必要な在庫数はなるべく正しく予測したい。
- 従来、購入部品数の予測はロジックを参考にすることなく、ほぼ経験に基づいて購入方針が決まりました。但し、経験のある従業員はどんどん辞めていく。(定年等)

The Approach (方法)

結果 (予測目標) :

- Y=受注履歴 (受注予測) 例: 部品形式、数量

過去データー:

- 顧客名
- 所在地
- 設備購入日
- 保証期間
- 前回メンテ日付
- ...

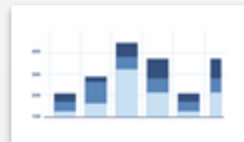
X1	X2	X3	X4	X5	Xn-1	Xn	Y1
2	4	1	1	1	1021	1	1.1
4	8	34	1	1	1022	1	11.1
2	8	34	1	1	1023	1	11.2
4	2	3	1	1	1024	1	11.2
5	8	34	1	1	1025	1	51.8
8	16	45	1	1	1026	1	A

The Solution (AIモデリング)

過去データーを自動機械学習のAIツールに学習させます。



① どの要因が部品の数量に最も影響を与えているのかが分かります。



各要因影響の割合を表します。

② 新規注文に対して、いつ、どの部品、どれぐらいを用意すれば良いか、AIが提案します。

The Results (結果)

過去のデータから将来部品発注数を予測し、在庫数を減らせます。

結果 (AI導入前後)

